



# プレスリリース

長野県東御市

報道機関各位

令和 8 年 8 月 25 日

件名

特別展「絵を蒐めるなら、こんな絵を蒐めたい」生誕 100 年記念 梅野隆美との対話」開催のお知らせ

## ■概要

東御市梅野記念絵画館の創設には、初代館長となった梅野隆(1926-2011)の独自の蒐集美学によるコレクションが基礎となりました。本年は、梅野隆の生誕 100 年にあたります。本展は、それを記念するとともにその生涯と業績に残された精神を振り返る試みです。

蒐集作品に投げかけられた「隆の言葉」を手がかりに、稀代の蒐集家・梅野隆の足跡と、真摯に「美と対話する精神」を見直し、次代へ継承することを目指したいと思います。

■会期 令和 8 年 9 月 5 日(土)～11 月 23 日(月・祝)

■開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時(最終入館午後 4 時 30 分)

※休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、祝日の翌日

■会場 東御市梅野記念絵画館、ふれあい館

■入館料 一般 800 円(団体 700 円)、中学生以下無料

## ■関連イベント

・OP 講演会「愛し、愛された木雨・梅野隆の世界 ―その蒐集とロマンチズム、リリズム」

◎開催日時 9 月 5 日(土)午後 1 時～

◎講師 岡部昌幸(東御市梅野記念絵画館館長)

◎会場 梅野記念絵画館ホール

◎料金 無料(要予約 定員 40 名)

・第 12 回木雨賞授賞式・記念講演会

◎開催日時 9 月 5 日(土)午後 2 時～

◎講師 中村徹(受賞者)

◎会場 梅野記念絵画館ホール

◎料金 無料(要予約 定員 40 名)

|                  |      |                 |     |                       |      |
|------------------|------|-----------------|-----|-----------------------|------|
| 本件に関する<br>問い合わせ先 | 部署   | 文化・スポーツ振興課文化振興係 |     | 担当者                   | 山本陸人 |
|                  | 電話番号 | 0268-61-6161    | メール | umenokinen@ueda.ne.jp |      |

## 展覧会企画書

### ■展覧会名

“絵を蒐<sup>あつ</sup>めるなら、こんな絵を蒐<sup>あつ</sup>めたい”

「生誕 100 年記念 梅野隆 美との対話」展

### ■企画趣旨

---

東御市梅野記念絵画館の創設には、初代館長となった梅野隆（1926-2011）の独自の蒐集美学によるコレクションが基礎となりました。本年は、梅野隆の生誕 100 年にあたります。本展は、それを記念するとともにその生涯と業績に残された精神を振り返る試みです。

梅野隆は、幼少期から培われた鋭い美意識を原点に、時代の中で埋もれつつあった作家たちに光を当て、作品の蒐集・研究、そしてその魅力を社会へ広く伝える顕彰活動を生涯にわたり続けました。

その原点には、早世の天才画家・青木繁（1882-1911）や近代洋画の巨匠・坂本繁二郎（1882-1969）を同郷の友として支え続けた父・梅野満雄（1879-1953）の存在があります。梅野隆は、一流の美に囲まれて育った少年時代を経て、父の没後、その志を継ぐかのように自身の蒐集を開始しました。

「自分の眼で自分の認めた美を買う」一人の美術品蒐集家となったサラリーマン時代、梅野隆は、人知れず埋もれゆく作家の作品を自らの眼で見出す喜びに目覚めます。そして、自らのサラリーマン引退を契機とし、第二の人生として「美術研究藝林」を開設。美術研究家、画廊主として活動し、蒐集と顕彰の営みをさらに深めていきました。さらに、長野県北御牧村へ拠点を移した後は、美術館という新たな表現の場を得て、梅野記念絵画館館長として、自身の美の実践と市民への普及活動に尽力しました。その築かれた梅野隆の理念は、2 代目館長・佐藤修をはじめとする後継者たちによって、今日まで当館の活動の根幹として息づいています。

本展では、今西中通や菅野圭介、酒井亜人や荘司貴和子など、梅野隆が確かな審美眼によって蒐集・研究・顕彰し、当館に遺した「梅野コレクション」を中心に、その系譜に連なる絵画・彫刻約 90 点で回顧します。作品に投げかけられた「隆の言葉」を手がかりに、稀代の蒐集家・梅野隆の足跡と、真摯に「美と対話する精神」を見直し、次代へ継承することを目指したいと思います。

## ■会期・会場・料金

会期：令和 8 年 9 月 5 日（土）～11 月 23 日（月・祝）

会場：東御市梅野記念絵画館 大展示室、ふれあい館

入館料：800 円（団体 700 円） （ナイトミュージアム開催日は 17 時以降入館無料）

## ■主催

東御市、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

## ■協力

梅野記念絵画館友の会

## ■展示構成

---

### ●第 1 章：「美とのめぐりあい 一審美眼の原点 1926-1953」

- ・梅野隆の原点（九州での少年時代）
- ・梅野満雄（父）、青木繁、坂本繁二郎らとの関係。

#### 【展示作家】

- ・青木繁

#### 【展示資料】

- ・青木繁関連資料（書簡など）、《海の幸》（複製パネル）、パレット
- ・坂本繁二郎関連資料『心の花』昭和 28 年 11 月号

### ●第 2 章：「蒐集ことはじめ 一美の狩人へ 1953-1985」

- ・父の志を継ぐように蒐集を本格化させたサラリーマン時代のコレクションを展示。

#### 【展示作家】

- ・阿以田治修、今西中通、F・ホドラー、鹿子木孟郎、吉田卓、谷中安規、板祐生、新海竹蔵、橋本平八

### ●第 3 章：「美術研究藝林 一発掘と顕彰の日々 1985-1998」

- ・藝林時代の蒐集、展示作品を展示。

#### 【展示作家】

- ・満谷国四郎、梅原龍三郎、安藤信哉、長谷川三郎、本荘昶、原勝郎、菅野圭介、北園克衛、牛田雞村、鍋島紀雄、酒井亜人、陽成二、朝倉文夫、新海竹太郎、池田勇八

#### ●第4章：「美をひらく ー美術館という新たな舞台 1998-2011」

- ・梅野隆が館長在籍中に開催した主な展覧会展示作品を展示。
- ・サラリーマン時代の「蒐集」、藝林時代の「蒐集と顕彰」を経て、美術館という新たな表現の場で、数多の市民へコレクションをより広く普及するという活動に尽力していく梅野隆の姿を見る。

##### 【展示作家】

- ・飯野農夫也、保多棟人、蔡國華、河野扶、此木三紅大、船山滋生

#### ●第5章：「受け継がれる美との対話 ー夢と遺志、その先へ 2011-」

- ・梅野隆が蒐集を望んだものの、生前にそれが叶わず、没後に館へと寄贈された作品や、展覧会開催を夢見つつ、その想いが後継へと託された作品を展示。
- ・佐藤修館長、雅子副館長といった梅野隆の意志を継ぐ後継者により開催された展覧会展示作品を展示。

##### 【展示作家】

- ・横井弘三、荘司貴和子、林倭衛、吉岡憲、小出三郎、木村辰彦、小貫政之助、堀内康司、近藤光紀

---

#### ●第6章：「小柴錦侍 ー時代を越えてめぐりあう美 2025」

- ・梅野隆没後 14 年となる 2025 年に絵画館へ寄託された忘却画家「小柴錦侍」を顕彰する展示。小柴錦侍は、梅野隆の「気になる作家」として、当館にも記録が残されている。寄託された作品、資料群に加え、梅野隆から作家遺族へ宛てられた熱い手紙を展示し、梅野隆の作品調査、収集活動を継承する。

##### 【展示作家】

- ・小柴錦侍

##### 【展示資料】

- ・小柴錦侍関連寄託資料

#### ○映像展示：「梅野隆の姿」

- ・在りし日の梅野隆の声と姿を記録した映像展示。

##### 【展示映像】

- ・「梅野記念絵画館 館長日記 3 天才画家“菅野圭介”に魅せられて」（予定）

#### ○資料展示

- ・『藝林月報』、『新生藝林』、『アートだより～アートの風』など

## ■作品図版（例）

---



青木繁《池畔》1910 年



今西中通《風景》制作年不詳



菅野圭介《哲学の橋（ハイデルベルク）》1953 年



菅野圭介《黒潮》1946 年



梅原龍三郎《メロン》1931 年



酒井亜人《秋》制作年不詳



横井弘三《故郷のスターマイン》1964 年



莊司貴和子《玄海の月》1976 年

## ■関連イベント

---

### ・オープニング講演会

「愛し、愛された木雨・梅野隆の世界 –その蒐集とロマンチズム、リリシズム」

4 代目館長岡部昌幸より、初代館長梅野隆の生涯をかけた蒐集について、お話しします。

講師：岡部昌幸（東御市梅野記念絵画館 館長）

日時：9 月 5 日（土）13:00～

場所：梅野記念絵画館ホール

料金：無料（要予約）

要予約（定員 40 名）

### ・第 12 回 木雨賞受賞式・記念講演会

木雨賞とは、忘れられ、埋もれゆく秀れた芸術家の顕彰活動が続けているコレクターに、毎年贈られている「友の会」主催の賞です。今年度は、友の会会員の中村徹氏が受賞されました。これを記念し、中村氏による記念講演会を開催いたします。

講師：中村徹（受賞者）

日時：9 月 5 日（土）

場所：梅野記念絵画館ホール

料金：無料（要予約）

要予約（定員 40 名）

### ・学芸員による展示解説

展覧会担当学芸員が、展覧会の見どころを解説します。

※聴講無料

※約 40 分間

① 9 月 26 日（土）14:00～ ② 10 月 12 日（月）14:00～ ③ 10 月 24 日（土）14:00～

④ 11 月 8 日（日）14:00～ ⑤11 月 22 日（日）14:00～

## ■図録作成

---

- ・名 称 : “絵を蒐めるなら、こんな絵を蒐めたい”  
「生誕 100 年記念 梅野隆 美との対話」展 図録
- ・発 行 日 : 2026 年 9 月 5 日 (土)
- ・発 行 部 数 : 400 部 (予定)
- ・判 型・寸 法 : B5 変形
- ・総 頁 数 : 約 120 頁 (予定)
- ・小 売 価 格 : 2,500 円 (税込) (予定)
- ・作品掲載形態
  - \* 色 : カラー
  - \* サイズ (紙面上での割合) : 紙面大もしくは紙面 1/2

〒389-0406 東御市八重原 935-1  
Tel:0268-61-6161 fax:0268-61-6162  
Email:umenokinen@ueda.ne.jp  
東御市梅野記念絵画館  
館長 岡部昌幸 (おかべ・まさゆき)  
担当 山本陸人 (やまもと・りくと)

“絵を蒐めるなら、こんな絵を蒐めたい”

# 梅野隆 生誕100年記念 美との対話

会場 = 東御市梅野記念絵画館 大展示室・ふれあい館

休館日 = 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日

開館時間 = 9:30-17:00 (最終入場 16:30)

入館料 = 800円 (団体700円)

※中学生以下無料 団体割引は15名様以上から

主催: 東御市、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

協力: 梅野記念絵画館友の会

令和8年 9月5日(土) — 11月23日(月・祝)



UMENO MEMORIAL MUSEUM OF ART  
東御市梅野記念絵画館

# “絵を蒐めるなら、こんな絵を蒐めたい” 梅野隆 生誕100年記念 美との対話

本展は、東御市梅野記念絵画館創設の礎となった初代館長・梅野隆(1926-2011)の生誕100年を記念し、その生涯と業績に残された精神を振り返る試みです。

梅野隆は、幼少期から培われた鋭い美意識を原点に、時代の中で埋もれつつあった作家たちに光を当て、作品の蒐集や研究、そしてその魅力を広く伝える顕彰活動を生涯にわたって続けました。

その原点には、青木繁(1882-1911)や坂本繁二郎(1882-1969)を同郷の友として支えた父・梅野満雄(1879-1953)の存在があります。一流の美に囲まれて育った梅野隆は、父の没後、その背を追うように自らの蒐集活動を開始しました。「自分の眼で自分の認めた美を買う」という信念のもと、埋もれた作家の作品を見出し、独自の審美眼によるコレクションを築き上げていきます。そして、自身の定年退職後には「美術研究藝林」を開設。美術研究家、画廊主として蒐集と顕彰の営みをより一層深めて行きました。さらに、その長年にわたる蒐集と研究の成果は梅野記念絵画館の創設へと結実します。美術館という新たな表現の場を得て、初代館長として、自身の美の実践と市民への普及活動に尽力しました。蒐集家、美術研究家、そして美術館館長として歩んだ梅野隆の足跡をたどり、その根底にあった「美と対話する精神」を見直し、次代への継承を目指します。



梅野隆 Umeno Takashi

- 1926年 福岡県八女市に生まれる
- 1951年 長崎経済専門学校卒業後、ブリヂストン(株)に入社
- 1985年 4月、美術研究「藝林」を開設(1997年12月閉廊)
- 1998年 長野県北御牧村立梅野記念絵画館・ふれあい館の館長に就任
- 2004年 4月、市町村合併により東御市梅野記念絵画館・ふれあい館に改称
- 2011年 7月没、享年84
- 2012年 東御市梅野記念絵画館で「梅野隆の仕事展」を開催
- 2020年 東御市梅野記念絵画館で「青木繁・坂本繁二郎と梅野三代展」を開催

## 会期中のイベント

※予約制イベントは梅野記念絵画館(0268-61-6161)までお電話でお申し込みください。  
空きがある場合は当日参加可能です。※展覧会観覧には別途入館料が必要です。

### ■オープニング講演会 9月5日(土)13:00～

「愛し、愛された木雨・梅野隆の世界ーその蒐集とロマンチズム、リリズム」  
4代目館長岡部昌幸より、初代館長梅野隆の生涯をかけた蒐集についてお話しします。

◎講師=岡部昌幸(東御市梅野記念絵画館 館長)

◎場所=梅野記念絵画館ホール ◎料金=無料 ◎要予約(定員40名)

### ■第12回 木雨賞受賞式・記念講演会 9月5日(土)14:00～

木雨賞とは、忘れられ、埋もれゆく秀れた芸術家の顕彰活動が続けているコレクターに、毎年贈られている「友の会」主催の賞です。今年度は、友の会会員の中村徹氏が受賞されました。これを記念し、中村氏による記念講演会を開催いたします。

◎講師=中村 徹(受賞者) ◎場所=梅野記念絵画館ホール ◎料金=無料 ◎要予約(定員40名)

### ■学芸員による展示解説

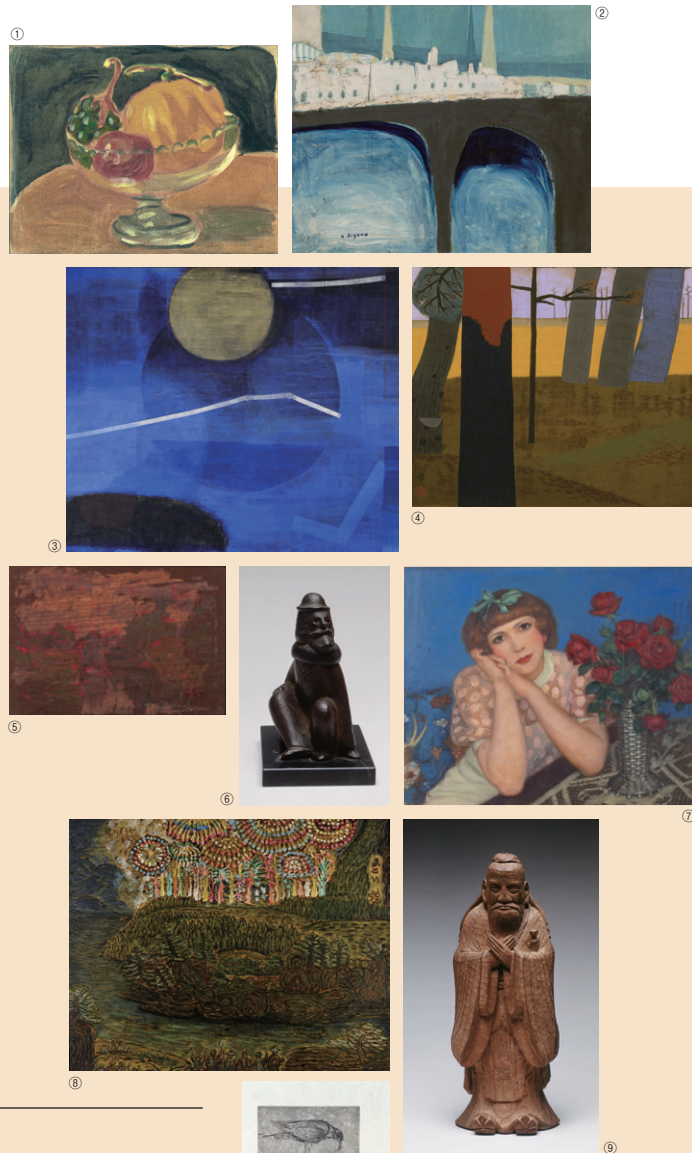
展覧会担当学芸員が、展覧会の見どころを解説します。

◎聴講無料(入館券要購入)

◎約40分のご案内となります。開始時間までに展示室入口にお集まりください。

① 9月26日(土)14:00～ ② 10月12日(月)14:00～ ③ 10月24日(土)14:00～

④ 11月8日(日) 14:00～ ⑤ 11月22日(日)14:00～



- ① 梅原龍三郎《メロン》
- ② 菅野圭介《哲学の橋(ハイデルベルク)》
- ③ 荏司貴和子《玄海の月》
- ④ 酒井亜人《秋》
- ⑤ 青木繁《池畔》
- ⑥ 陽成二《異人香炉》
- ⑦ 小柴錦侍《見なれし夢》
- ⑧ 横井弘三《故郷のスターマイン》
- ⑨ 橋本平八《至聖孔子像》
- ⑩ 小貫政之助《鳥と女》

東御市梅野記念絵画館

UMENO MEMORIAL MUSEUM OF ART

Instagram

@umenokinenkaigakan

Website

www.umenokinen.com

QR Code

■ 鉄道等の場合

しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分。

■ お車の場合

上信越道・東部湯の丸IC  
から約20分。  
Google Map▶

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406

長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園

TEL:0268-61-6161 FAX:0268-61-6162